



青い森鉄道の新駅「筒井駅」 3月15日(土)開業!!

青森駅 ← 7分 → 筒井駅

青い森鉄道で 買い物も通勤・通学も もっと便利に!

青い森鉄道線の新駅として県が昨年度から整備を進めてきた「筒井駅」が3月15日(土)に開業します。

駅の場所

青い森鉄道線の青森駅と東青森駅の間で、青森市筒井地区の県立青森高校から約400mのところに位置しています。



駅の特徴

筒井駅は、駅員を配置しない無人駅となります。駅の主な施設は次のとおりです。

ホーム

- 地上から約7mの盛土上に、4両編成の列車に対応できる約90mのホームを設置しています。
- ワンマン運行する列車の乗降部となる先頭車両部分には屋根を設置していますので、雨や雪に当たらずに列車の乗り降りができます。



屋根付きの連絡通路・階段で待合室から雨・雪に当たらずに列車に乗ることができます

青い森鉄道対策室 ☎017-734-9150

待合室

•高架下に、自動券売機を備えた上下線共通の待合室(椅子12席)を設置しています。

エレベーター

•上下線のホームへ、それぞれエレベーターを設置していますので、車椅子の方も安心して利用できます。

駐輪場等

青森市が、駅に隣接して駐輪場と一時駐車スペースを整備しています。

駐輪場

•約100台の自転車の駐輪ができます。

一時駐車スペース

•10台分の一時駐車スペースがありますので、駅への送迎の際に利用できます。(長時間の利用はできません。)

青い森鉄道からのお知らせ

新型車両の運行開始

- 青い森鉄道(株)では、筒井駅が開業する3月15日(土)から新型車両「青い森703系」の運行を開始します。
- 新型車両は、バリアフリー対応となっており、車椅子の方もスムーズに乗車できるようになっています。



新型車両

記念切符の販売

- 青い森鉄道(株)では、今回の筒井駅の開業と新型車両の運行開始を記念して、それぞれ記念切符を販売する予定です。

詳しくは、青い森鉄道(株) ☎017-752-0330までお問い合わせください。



「集い、学び、つながる」公民館

公民館ができること

地域住民の方々が集い、日々の生活の中で得た気づきや課題について講座や研修会で学び、さらに学びを通じて人とつながり、共に課題解決に向けた地域活動に取り組んでいく。それが公民館の持つ本来の機能です。公民館は、地域づくりに携わる人財育成の場とも言えます。

県教育委員会では、このような公民館機能を活性化することによって、地域の人財を継続的に育成し、地域コミュニティの活性化を目指すため、地域で考え行動する公民館機能活性化事業を展開しています。

公民館について学びました

今年度は、6月に開催した「キックオフフォーラム」で、全県的な機運醸成を図るとともに、「公民館の力活用プランナー講座」や、「公民館の力活用住民講座」を開催し、公民館職員や地域住民が公民館機能を活用した取組について学びました。



公民館の力活用プランナー講座の様子

公開コンペを開催しました

研修等で得た知識や技能を踏まえ、実践的な活動を通してさらにスキルアップできるよう、地域住民と公民館の協働により、それぞれの地域課題に対応する事業プランを公募、11月30日には、それらの事業プランを発表する公開コンペを開催しました。

審査の結果、10市町村から12の事業プランが選出され、来年度、各地域で実施される予定となっています。

選出された事業プラン

選出された事業プランは、たとえば次のようなものがあります。

- ◎各世代を対象とした研修・講座で共通した楽曲を用い、公民館まつり等で音楽を通じた世代間交流を図る。
- ◎幻の古道という地域資源を生かした取組を通して、公民館を拠点とした地域の歴史伝承や世代間の交流を図る。
- ◎子育て世代が中心となって、公民館を拠点に市民参加の世代間交流事業を実施し、子育てしやすいまちづくりを目指す。
- ◎祭や学校行事での「ものづくり体験」を通じて、子どもたちと町内の各団体の交流を図り、住民のつながりを深める。

選出された事業プランはいずれも、地域の課題や特性に応じた多様な内容となっています。

公民館へ行こう!

「集い、学び、つながる」公民館。その機能を十分に生かすためには、地域住民の皆さんの力が必要です。まずはお気軽に、お近くの公民館に出かけてみてはいかがでしょうか。



公開コンペの様子

◎事業についての詳細はこちら

地域で考え行動する公民館機能活性化事業ホームページ

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/kouminkankinou.html>

生涯学習課 ☎017-734-9888